

7 特定疾患（難病）関係

(1) 特定疾患医療受給者証所持者数

平成22年度末現在の特定疾患医療受給者証所持者数は706,720人で、「男」は298,818人(42.3%)、「女」は407,902人(57.7%)となっている。また、人口10万対で見ると571.4となっており、疾患別では「(12)潰瘍性大腸炎」が95.3と最も多く、次いで「(20)パーキンソン病関連疾患」が86.2となっている。(表8)

表8 特定疾患医療受給者証の所持者数

(単位：人)

平成22年度末現在

	特定疾患医療受給者証所持者数			
		人口10万対	男	女
総数 (構成割合：%)	706 720 (100.0)	571.4	298 818 (42.3)	407 902 (57.7)
(01) ベーチェット病	17 290	14.0	7 416	9 874
(02) 多発性硬化症	14 492	11.7	4 107	10 385
(03) 重症筋無力症	17 314	14.0	6 116	11 198
(04) 全身性エリテマトーデス	56 254	45.5	6 080	50 174
(05) スモン	1 628	1.3	390	1 238
(06) 再生不良性貧血	9 417	7.6	3 828	5 589
(07) サルコイドーシス	20 268	16.4	5 794	14 474
(08) 筋萎縮性側索硬化症	8 406	6.8	4 772	3 634
(09) 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	42 233	34.1	7 423	34 810
(10) 特発性血小板減少性紫斑病	22 220	18.0	6 628	15 592
(11) 結節性動脈周囲炎	7 600	6.1	3 159	4 441
(12) 潰瘍性大腸炎	117 855	95.3	63 593	54 262
(13) 大動脈炎症候群	5 438	4.4	524	4 914
(14) ピュルガール病	7 147	5.8	6 209	938
(15) 天疱瘡	4 648	3.8	1 849	2 799
(16) 脊髄小脳変性症	23 290	18.8	11 311	11 979
(17) クロウン病	31 652	25.6	22 261	9 391
(18) 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	210	0.2	107	103
(19) 悪性関節リウマチ	5 891	4.8	1 677	4 214
(20) パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)	106 637	86.2	43 636	63 001
(21) アミロイドーシス	1 505	1.2	747	758
(22) 後縦靭帯骨化症	29 647	24.0	19 833	9 814
(23) ハンチントン病	798	0.6	333	465
(24) モヤマヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	12 992	10.5	4 317	8 675
(25) ウェゲナー肉芽腫症	1 671	1.4	783	888
(26) 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	22 123	17.9	16 587	5 536
(27) 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)	11 096	9.0	5 603	5 493
(28) 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	315	0.3	139	176
(29) 膿疱性乾癬	1 679	1.4	842	837
(30) 広範脊柱管狭窄症	4 218	3.4	2 832	1 386
(31) 原発性胆汁性肝硬変	17 298	14.0	2 153	15 145
(32) 重症急性膵炎	1 132	0.9	772	360
(33) 特発性大腿骨頭壊死症	13 476	10.9	7 665	5 811
(34) 混合性結合組織病	9 028	7.3	690	8 338
(35) 原発性免疫不全症候群	1 147	0.9	716	431
(36) 特発性間質性肺炎	5 896	4.8	3 846	2 050
(37) 網膜色素変性症	25 296	20.5	10 647	14 649
(38) プリオン病	492	0.4	174	318
(39) 肺動脈性肺高血圧症	1 560	1.3	470	1 090
(40) 神経線維腫症	3 112	2.5	1 349	1 763
(41) 亜急性硬化性全脳炎	87	0.1	51	36
(42) バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	232	0.2	114	118
(43) 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1 288	1.0	336	952
(44) ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病含む。)	760	0.6	443	317
(45) 副腎白質ジストロフィー	173	0.1	165	8
(46) 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	120	0.1	58	62
(47) 脊髄性筋萎縮症	514	0.4	314	200
(48) 球脊髄性筋萎縮症	686	0.6	684	2
(49) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2 328	1.9	1 422	906
(50) 肥大型心筋症	2 239	1.8	1 351	888
(51) 拘束型心筋症	18	0.0	11	7
(52) ミトコンドリア病	764	0.6	337	427
(53) リンパ脈管筋腫症(LAM)	335	0.3	-	335
(54) 重症多形滲出性紅斑(急性期)	48	0.0	12	36
(55) 黄色靭帯骨化症	993	0.8	648	345
(56) 間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、 ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、 クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	11 764	9.5	5 494	6 270

注：東日本大震災の影響により、宮城県及び福島県が含まれていない。

(2) 特定疾患登録者証所持者数

平成 22 年度末現在の特定疾患登録者証所持者数は 54,762 人で、「男」は 22,217 人 (40.6%)、「女」は 32,545 人 (59.4%) となっている。また、人口 10 万対で見ると 44.3 となっており、疾患別では「(07)特発性血小板減少性紫斑病」が 9.0 と最も多く、次いで「(05)サルコイドーシス」が 7.0 となっている。(表 9)

表 9 特定疾患登録者証の所持者数

(単位：人)

平成 22 年度末現在

	特定疾患登録者証所持者数			
		人口10万対	男	女
総数 (構成割合：%)	54 762 (100.0)	44.3	22 217 (40.6)	32 545 (59.4)
(01) ベーチェット病	1 747	1.4	598	1 149
(02) 重症筋無力症	1 217	1.0	369	848
(03) 全身性エリテマトーデス	3 123	2.5	360	2 763
(04) 再生不良性貧血	2 952	2.4	1 234	1 718
(05) サルコイドーシス	8 604	7.0	2 865	5 739
(06) 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	1 457	1.2	388	1 069
(07) 特発性血小板減少性紫斑病	11 186	9.0	3 468	7 718
(08) 結節性動脈周囲炎	247	0.2	96	151
(09) 潰瘍性大腸炎	8 448	6.8	3 951	4 497
(10) 大動脈炎症候群	667	0.5	229	438
(11) ビュルガー病	508	0.4	441	67
(12) 天疱瘡	541	0.4	321	220
(13) クロウン病	1 294	1.0	712	582
(14) 悪性関節リウマチ	79	0.1	40	39
(15) 後縦靭帯骨化症	4 722	3.8	3 220	1 502
(16) モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	2 081	1.7	708	1 373
(17) ウェゲナー肉芽腫症	112	0.1	62	50
(18) 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	10	0.0	3	7
(19) 膿疱性乾癬	37	0.0	10	27
(20) 広範脊柱管狭窄症	367	0.3	268	99
(21) 特発性大腿骨頭壊死症	4 300	3.5	2 356	1 944
(22) 混合性結合組織病	481	0.4	162	319
(23) 特発性間質性肺炎	416	0.3	237	179
(24) バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	99	0.1	79	20
(25) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5	0.0	4	1
(26) 肥大型心筋症	8	0.0	2	6
(27) 拘束型心筋症	2	0.0	2	-
(28) ミトコンドリア病	6	0.0	6	-
(29) 黄色靭帯骨化症	15	0.0	15	-
(30) 間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	31	0.0	11	20

注：東日本大震災の影響により、宮城県及び福島県が含まれていない。